

# 大阪 あちこち

## ●貝塚御坊 願泉寺

貝塚市中町には、江戸時代に周辺の町場を支配した願泉寺があります。ここは、岸和田藩の領地の中にありながら、藩には属さず「貝塚寺内町」として独立した町でした。願泉寺とこの町の始まりは16世紀末までさかのぼります。織田信長と大坂本願寺の戦いでは、大坂本願寺を援助し、その後一時、本願寺がこの地に置かれたことから有名な寺内町です。

願泉寺には、様々な文化財があります。平成5年、国重要文化財となった本堂他の建造物をはじめ、大阪府指定文化財の釣鐘、貝塚市指定文化財の本願寺門主画像などがあり、大阪府の真宗のあり方を考える上でも重要な寺院です。

さて、重要文化財の本堂ですが、江戸時代、寛文3年（1663）の建立とされています。長年の傷みに加え、近年の災害によって大きな破損を受けていました。根本的な修理を行わないと、危機的な状況になることは明らかでした。そこで、文化庁と協議を重ねた結果、本堂他国指定の重要文化財を平成16年度から7年間の予定で、国庫補助金を受け半解体修理を行うこととなりました。

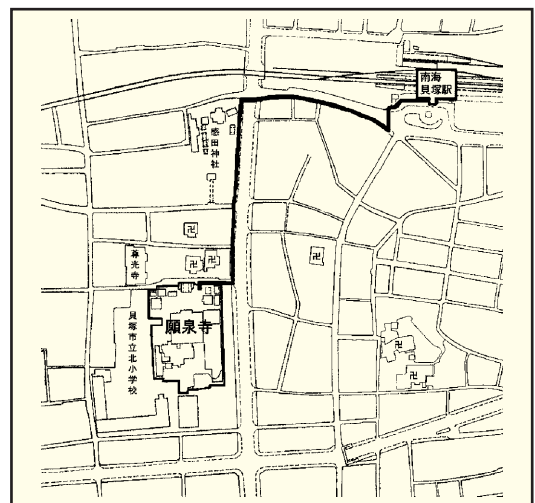
工事は平成16年7月から開始され、第1期工事として、修理工事車両出入口確保のための築地塀解体や、修理中の本堂を保護するための覆屋の建設が行われました。現在は第2期工事として、本堂の解体・修理作業が進行しています。

半解体修理といっても本堂他の建物は重要文化財で



すので、単純に解体して修理するのではなく、今に残る状態を調査・記録し作業を行っています。築地塀の解体調査では、これまで何回も修理が行われていたことが明らかになっています。解体・調査の途中で建立当初と見られる墨書が発見されたり、古文書等に記録されていない補修工事跡が見つかったりし、これまで分からなかった新しい事実が続々と判明しています。

修理の様子は、平日は工事作業のためご覧いただけませんが、毎月第3日曜日を一般公開日として説明会が実施されています。



### ▼お問い合わせ先▼

貝塚市教育委員会社会教育課

TEL 0724-33-7126